

## 2023年度 近江兄弟社高等学校 学校評価

### 2023年度重点目標

建学の精神のもと、生徒自らが成長を自覚できるようナベラルアーツ教育の実践を図る。  
 高等学校学舎の照明整備を行い、学習環境を整える。  
 主体的な学びの態度を育成するための授業改革を行い、ICTツールを有効活用しながら生徒の探究心を育てる。  
 国際センターやICCを中心に「世界に視野を広げる教育」の実践を図る。  
 ヴォーリズアワーを通してキャリアアンカー構築に向けた取り組みを行う。  
 安心安全に学べる環境作りを基本とした、きめ細やかな生徒相談や支援体制を構築する。

領域	設問	自己評価	総合評価	備考
建学の精神／教育理念	建学の精神や教育理念が教育活動の中で大切にされている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	礼拝行事など宗教教育は生徒の成長に寄与している。	A	A	教職員・生徒・保護者
	学科やクラス（ICC,ASC,GLC,HNC）の特徴を活かした教育が生徒の成長に活かされている。	B	A	教職員・生徒・保護者
学習指導	教員は教材や教授法に工夫を凝らし、丁寧に分かりやすい授業に努めている。	A	B	教職員・生徒・保護者
	授業の進め方が生徒の興味関心を引き、学習意欲を高めることにつながっている。	B	B	教職員・生徒・保護者
	授業において、iPad、ChromebookなどICTの活用がすすんでいる。	A	A	教職員・生徒・保護者
	家庭学習（課題など）の量や内容は適切である。	B	B	教職員・生徒・保護者
生徒指導	悩みや困ったことがあった時、教員（担任以外を含めて）に相談することができる。	A	B	教職員・生徒・保護者
	あいさつ、礼儀、服装など生徒が基本的な生活習慣を確立させる指導を徹底している。	B	A	教職員・生徒・保護者
	教職員集団が一致して校則を守るよう指導している。	B	B	教職員・生徒・保護者
進路指導／連携教育	授業や課外学習(エクステンションプログラム)などの学校の学習で、希望する大学受験に対応している。	B	B	教職員・生徒・保護者
	ホームルームやヴォーリズアワーの時間などに将来の進路や生き方について考える機会がある。	A	A	教職員・生徒・保護者
	生徒の興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような進路指導を行っている。	B	B	教職員・生徒・保護者
	進路および学習指導に関する説明会・懇談などが充実している。	B	B	教職員・生徒・保護者
	大学デーや学部学科セミナー、大学訪問、連携講義などの高大連携行事は生徒の進路選択に有効である。	A	A	教職員・生徒・保護者
特別活動／課外活動	研修旅行、留学制度、留学生受け入れなどの活動がは生徒の国際性の向上に寄与している。	A	A	教職員・生徒・保護者
	学園祭（虹隣祭）や委員会活動、ボランティア活動は充実しており、生徒の成長が実感できる。	A	A	教職員・生徒・保護者
	目先のことばかりだけでなく、幅広く人生や生き方についても考える機会を与えている。	B	B	教職員・生徒・保護者
	部活動は充実している。	A	A	教職員・生徒・保護者
保護者連携／広報	学校からの通信や文書、Classiなどで学校の様子が家庭によく伝わっている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	ホームページの内容は十分であり、タイミングよく適切な情報が提供されている。	B	B	教職員・生徒・保護者
	保護者はPTA活動(総会、研修会、署名活動等)に積極的に参加している。	B	B	教職員・保護者
	高等学校の情報発信は地域や皆様の周囲に十分発信され、届いている。	B	B	教職員・生徒・保護者
学校図書館	生徒は、読書、授業、休み時間や放課後の居場所、イベント等で図書館を利用している。	C	C	教職員・生徒・保護者
人権教育	学校は、お互いの人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりに努めている。	A	B	教職員・生徒・保護者
保健・安全指導	学校は、防犯、防災をはじめとする安全管理や、病気予防・保健衛生の対策をしっかりとっている。	B	B	教職員・生徒・保護者
その他	教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	保護者にとって、学費負担は大きい。	C	C	教職員・保護者
	本校への入学を親戚、友人・知人に勧める。	B	B	教職員・生徒・保護者

- (注)
- ・ 評定表の見方
    - 11月 学校の教育目標にもとづいた評価項目の公表
    - 12月 評価の実施（12月までの教育活動に対する評価）
    - 8月 総合評価の公表（年間の教育活動に対する総合評価）
  - ・ 自己評価は教職員、総合評価は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による（項目により全ての評価者によらない場合がある。）
  - ・ ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%～74%をB、25%～49%をC、～24%をDとする。